

2021.05.21

InterRisk Thai Report <2021 No.05>

東南アジアの新型コロナウイルス感染状況と職場での対応のポイント

【要旨】

- 2021年3月以降、東南アジアの新型コロナウイルス感染者数は急激に増加しています。
- 職場での新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、いま一度、基本的な対策と職場で感染疑い者が発生した場合の対応をご確認ください。

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行から1年以上が経過し、各国でワクチンの接種も始まっていますが、未だ予断を許さない状況が続いています。東南アジアでは、2020年後半に感染の拡大が一旦沈静化した国もありましたが、イギリス、南アフリカ、ブラジル、インドなどで発見された変異ウイルスの影響もあり、2021年3月以降、感染者数が急激に増えています。

当レポートでは、東南アジアにおける新型コロナウイルスの感染状況を簡単にまとめるとともに、職場での新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためのポイントを再確認します。

1. 東南アジアにおける新型コロナウイルス感染状況

東南アジアでは、2021年3月中旬以降、新型コロナウイルスの感染者が急激に増加しています。図1に東南アジアにおける1週間ごとの感染者数の推移（2020年3月～2021年5月17日）を示します。

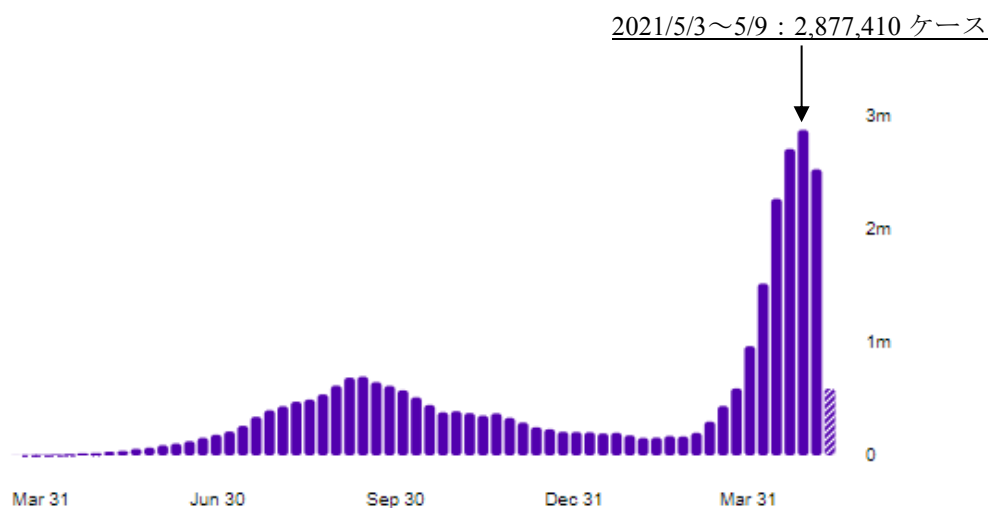
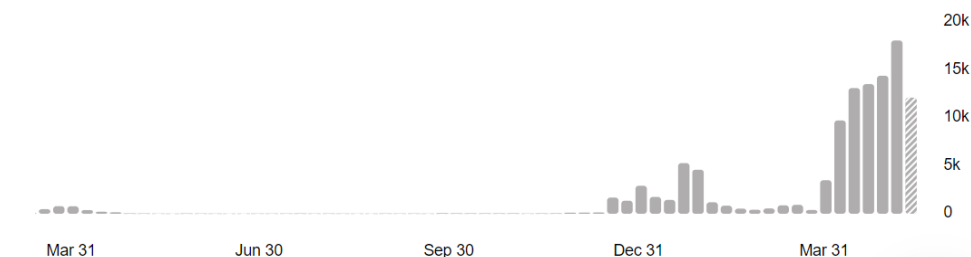


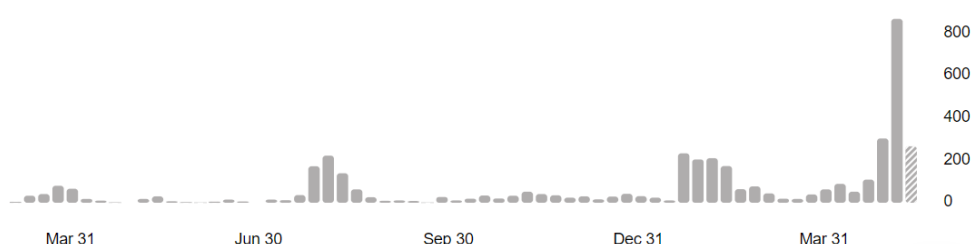
図1 東南アジアにおける新型コロナウイルス週間感染者数の推移*1

ここ最近、顕著な増加がみられるタイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、シンガポールの累計感染者数、死亡者数（いずれも2021年5月17日時点）および週間感染者数の推移（2020年3月～2021年5月17日）は図2のとおりです。

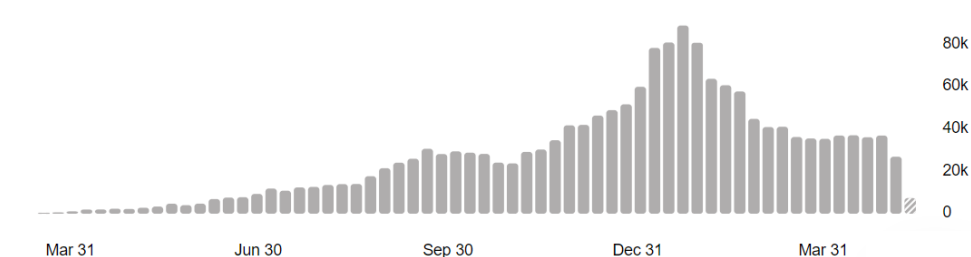
【タイ（累計感染者数：113,555名、累計死亡者数：649名）】



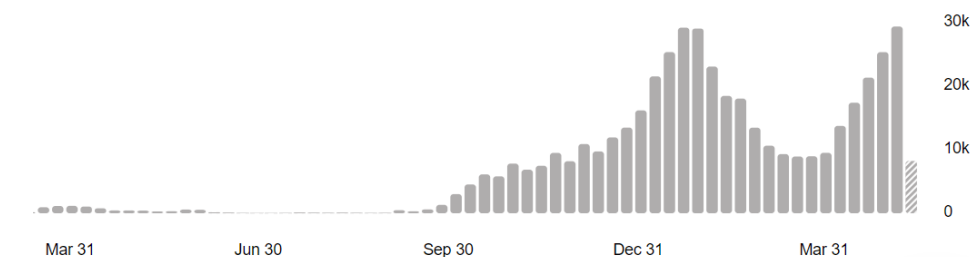
【ベトナム（累計感染者数：4,378名、累計死亡者数：37名）】



【インドネシア（累計感染者数：1,744,045名、累計死亡者数：48,305名）】



【マレーシア（累計感染者数：474,556名、累計死亡者数：1,947名）】



【シンガポール（累計感染者数：61,613名、累計死亡者数：31名）】

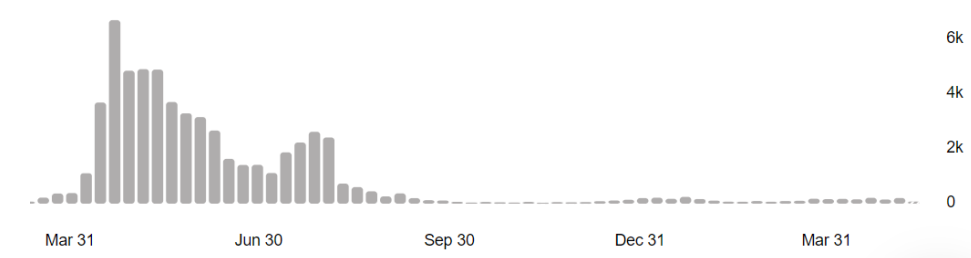


図2 東南アジア各国の累計感染者数、死亡者数、週間感染者数の推移^{*1}

2. 職場における新型コロナウイルス感染症対応

職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための基本的な対策と、職場で感染疑い者が確認された場合の対応のポイントを以下にまとめます。

なお、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状は以下のとおりです。

- 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状
- 発熱、咳、頭痛などの比較的軽い風邪症状
- 嗅覚障害、味覚障害

表1 基本的な対策*2

(1) 社員の日常的な健康状態の確認	
出勤前に体温を確認するよう社員全員に周知し、徹底する。	<input type="checkbox"/>
出社時に、全社員の日々の体調（発熱やだるさを含む風邪症状の有無、味覚や嗅覚の異常の有無等）を確認する。	<input type="checkbox"/>
体調不良時には正直に申告しやすい雰囲気醸成し、体調不良の訴えがあれば勤務させないこと、正直に申告し休むことで不利益な扱いにしないことを徹底する。	<input type="checkbox"/>
(2) 身体的距離の確保、マスクの着用	
人と人との間隔は、2m（最低1m）以上確保する。	<input type="checkbox"/>
会話をしている際は、可能な限り真正面を避ける。	<input type="checkbox"/>
症状がなくても職場では常にマスクを着用する。	<input type="checkbox"/>
(3) 接触感染の防止	
機器（例：電話、パソコン、デスク等）や治具・工具は複数人での共用をできる限り回避する。どうしても共用する場合には使用前後での手洗いや手指消毒を徹底する。	<input type="checkbox"/>
機器、治具・工具等をこまめに消毒する。	<input type="checkbox"/>
トイレの床や壁は次亜塩素酸ナトリウム0.1%水溶液で手袋を用いて清拭消毒する。	<input type="checkbox"/>
トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示する。	<input type="checkbox"/>
トイレにペーパータオルを設置するか、個人ごとにタオルを準備する。（ハンドドライヤーは止め、タオルの共通使用も禁止する。）	<input type="checkbox"/>
休憩スペースは常時換気する。	<input type="checkbox"/>
休憩スペースの共用物品（テーブル、いす、自販機ボタン等）を定期的に消毒する。	<input type="checkbox"/>
休憩スペースへの入退室の前後に手洗い又は手指の消毒を徹底する。	<input type="checkbox"/>
社員食堂での感染防止のため、座席数を削減（または座る位置を制限）し、マスクを外したままの談笑を控えるよう注意喚起する。	<input type="checkbox"/>
社員食堂への入退室の前後に手洗い又は手指の消毒を徹底する。	<input type="checkbox"/>
社員食堂では感染防止のため、トンゴやポットなどの共用を避ける。	<input type="checkbox"/>
喫煙所では同時に利用する人数に制限を設け、手指消毒後に十分乾いてから喫煙するよう指導し、会話をせず喫煙後は速やかに立ち退くことを利用者に周知徹底する。	<input type="checkbox"/>

表2 職場で感染疑い者が確認された場合の対応*3

(1) 第一報	
感染疑い事例が発生した場合は、速やかに上司、現場管理者等に報告する。	<input type="checkbox"/>
上司、現場管理者は事業所内で情報を共有する。	<input type="checkbox"/>
医療機関、相談センター等※へ連絡し、指示を受ける。 ※国によって連絡先が異なるため、報告ルート、報告先、報告方法を事前に整理しておく。	<input type="checkbox"/>
感染疑い者の家族にも情報を共有する。その際、感染疑い者の状態や症状の経過、受診・検査の実施等の今後の予定についても共有する。	<input type="checkbox"/>
(2) 感染疑い者への対応	
感染疑い者を個室に移動する。	<input type="checkbox"/>
医療機関、相談センター等の指示に従い、感染疑い者を指定の場所へ移動させる。	<input type="checkbox"/>
検査を受けられる国では直ちに受診し、検査結果を速やかに共有する。	<input type="checkbox"/>

感染疑い者と同室、同エリアで働く者に新型コロナウイルス感染症の症状を有する者が多い場合は事業所内で感染が広がっていることを疑い、体調不良者の状況調査を行う。	<input type="checkbox"/>
(3) 消毒・清掃	
当該感染疑い者の作業場所および利用した共有スペースの消毒・清掃を行う。	<input type="checkbox"/>
消毒の際は手袋を着用し、消毒用エタノールで清拭する。消毒用エタノールがない場合は、次亜塩素酸ナトリウム液(0.05%)で清拭後、湿式清掃し、乾燥させる。	<input type="checkbox"/>
(4) 感染拡大防止(濃厚接触者の特定、対応)	
感染者(または感染疑い者)の直近2週間の勤務記録を確認する。	<input type="checkbox"/>
症状が出現した2日前からの接触者リストを作成する(以下、濃厚接触者の定義を参照)。	<input type="checkbox"/>
感染疑い者の感染が確定した場合、濃厚接触者は14日間自宅待機(可能な場合は在宅勤務)とする。	<input type="checkbox"/>

※濃厚接触者の定義：感染可能期間(発症2日前～)に接触した人のうち、

- ・感染者と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等)があった者
- ・適切な感染防護無しに感染者を診察、看護もしくは介護していた者
- ・感染者の気道分泌物もしくは体液等に直接触れた可能性が高い者
- ・手で触れることのできる距離(目安として1m)で、必要な感染予防策なしで、感染者と15分以上の接触があった者。

(補足) 職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための基本的な対策と、職場で感染疑い者が確認された場合の対応のポイントをまとめましたが、各国で定められているもしくは推奨されている対策も参照いただき適切な対応を整理することが重要です。

InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd.

佐藤 公紀

参照

*1: <https://covid19.who.int/>

*2: 「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」(厚生労働省)を参考に、InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd.が作成

*3: 「障害福祉サービス事業所等における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」(厚生労働省)を参考に、InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd.が作成

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2021